

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名	バイオフィレスト構想支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名 古荘 一也
体系	施策	11	農業の振興		所属課	商工振興課	担当者名 中村 公彦
	基本事業	32	関係機関の連携の強化		所属班	地域ブランド推進室	(内線) 1253
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 1	事業連番 10320	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>【開始した背景・きっかけ】新市建設計画で、県のバイオフィレスト構想の支援を重要施策としている。H19年5月にバイオ関連の情報収集、マッチング、産学行政による共同研究や事業化などに対する支援を行うため、くまもとテクノ産業財団のバイオフィレストポータルセンターが西合志庁舎に設置された。H19に崇城大学・東海大学と市が連携等の協定を取り交わした。</p> <p>【事業の内容】有識者の講義を聞いた後に、講演者と参加者が語り合う夜語りサロン『合志の明日』を開催。</p> <p>【今後の状況変化】バイオフィレスト構想の目標年次は2010年。熊本県はその後この構想と「熊本セコダグ・バイオフィレスト構想」「熊本のつくりおこし構想」の3つの構想を併せた新たな総合的産業戦略を策定することとしている。</p>
【業務の流れ】	夜語りサロンは、年6回(偶数月)、平日の午後6時半から2時間開催。サロンの講師を決める(提携している東海大学の荒木教授に調整していただいている)⇒講師とテーマ等の打合せ⇒サロンの開催案内(広報、ホームページ、メール、FAX等)⇒サロン当日の会場設営と運営、参加者からアンケート徴収⇒アンケートの集計、講師謝金の支出⇒サロンの概要等をホームページに公開
【主な予算費目】	職員手当等、報償費、役員費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	BFSセンター顧問や大学の教授等から、合志市の特産品を開発するにあたって、地域の優位性をもっと活かすべきだとの指摘がある。具体的には、市内にある九州沖縄農業研究センターや県農業研究センターと連携し、積極的に利活用しながら地域住民と協働で特産品開発に取り組む全国に誇れる合志市をアピールする環境を整えるべき等の意見がある。夜語りサロンの参加者から、「参加者が少ない」「テーマが誰を対象にしているかわからない」「話が長く講演会になっている」との意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO) 夜語りサロン『合志の明日』を行った。(1回)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 地域ブランド推進協議会の活動の中で、バイオフィレストサポートセンター活用のための情報提供等を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 開催回数 イ: 夜語りサロン参加者	(単位) 回 人 予算の主な増減の理由 バイオフィレスト構想の支援は、ブランド協議会の活動を通じて行っていく。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 市民 イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バイオに関心を持ってもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: バイオフィレストポータルセンターに相談で訪れた人 イ: 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 回		7	6	6	1	0	0	0
	イ 人		57	107	120	18	0	0	0
② 対象指標	ア 人		54,175	54,525	55,000	55,036	55,200	55,300	55,400
	イ								
③ 成果指標	ア 人		0	3	6	3	6	6	6
	イ								
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	1,104	179	253	19		
		(A) 事業費計	千円	1,104	179	253	19	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	146	9	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	93	146	9	0	0
		人件費	人	28	3	2	1	0	0
	延べ業務時間	時間	1,738	90	90	20	0	0	
	(B) 人件費計	千円	6,952	358	358	82	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,056	537	611	101	0	0	

総トータルコスト
全体計画
~
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	バイオフォレスト構想支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 相談者はあった。BFSセンターに常駐者がいないため、商工振興課へ来ていただいた。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 相談者はあった。BFSセンターに常駐者がいないため、商工振興課へ来ていただいた。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 合志市特産品地域ブランド推進協議会の活動を周知することで、生産者等の相談者数は増加すると考える。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 合志市特産品地域ブランド推進協議会の活動を周知することで、生産者等の相談者数は増加余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地域ブランド推進協議会の活動の中で、バイオフォレストサポートセンター活用のための情報提供等を行う。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 講師料の掛からない講師を選定すれば削減できる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 時間内に開催すれば時間外手当が削減できる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 誰でも相談に来れるので、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 BFSのサポートを行っており、行政の役割として適当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

夜語りサロンに変わり、地域ブランド推進協議会の活動を通じて生産者等がバイオに興味を持ってもらいサポートセンターでの相談に結びつくような情報提供を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 生産者等にバイオに興味を持ってもらいサポートセンターでの相談に結びつくような情報提供が必要である。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						